

プレリーダー研修1級

第1回：平成30年10月20日～10月21日

研修1

「プレリーダーの使命と役割」

九州共立大学 スポーツ学部 教授 山田 明 氏に、現代の子どもの課題やプレリーダーへの期待をこめてプレリーダーの使命と役割について講義をしていただきました。現代では自尊心や体力、学力などの低下が課題になっています。この講義を通して子ども理解を深め、関わり方を学ぶことができました。

研修2

「野外活動における安全管理」

福岡大学 スポーツ科学部 教授 築山 泰典 氏に野外活動における安全管理の講義・演習をしていただきました。

野外での活動はさまざまな危険を伴います。野外炊飯の活動に「どのような危険があるのか」「どのようにふせげるのか」といったKYT(危険予知トレーニング)を通してグループで話し合いました。子ども達の安全を守るためにとても貴重な講義の時間でした。

研修3

「子どもの体験活動の企画・立案①」

福岡県立少年自然の家「玄海の家」主任社会教育主事 宮崎 和善 が、体験活動の企画・立案について講義・演習をしました。研修の最後に実際に活動プログラムの立案を行いました。子どもたちに「何を学ばせるのか」というねらいをもって計画することの大切さを学びました。

研修4・5

「良好な人間関係づくりをめざすアクティビティ展開①②」

宗像市子ども部教育子ども育成課 社会教育主事 河野 和道 氏に良好な人間関係づくりをめざすアクティビティ展開①②をPA(プロジェクトアドベンチャー)の手法を使ったレクリエーションを交えながら講義・演習していただきました。指導者の立場や子どもの立場に立って「どのような声かけをしたら良いか」などを学ぶことができました。終わりが近づくにつれて参加者のみなさんの仲が深まり、第1回を終了しました。

第2回：平成30年11月10日～11月11日

研修6

「普通救命講習Ⅰ」

第2回の1つ目の研修では、宗像地区消防本部で救急課職員の方から、骨折や出血の時の応急手当、心肺蘇生法やAEDの使い方について学びました。子どもたちの急な事故や怪我への適切な応急処置について学ぶことができました。



研修7・8

「指導者の実践知識①～玄海を自然を生かして～」 「指導者の実践知識②～野外炊飯～」

玄海を自然を生かしたレクリエーションや野外炊飯について北九州市立玄海青年の家 所長 村岡 学 氏に講義・演習をしていただきました。「玄海の家」の松林を存分に生かし、かくれんぼをアレンジしたものや、みんな鬼やバナナ鬼などさまざまなおにごっこを体験しました。みんな童心に返って、広場を走り回りました。

野外炊飯ではKYT(危険予知トレーニング)を初めに行い、薪割りや食材切り、食器洗いなど班で協力しておいしいカレーライスを作りました。



研修9

「指導者の実践知識③～玄海自然アート～」

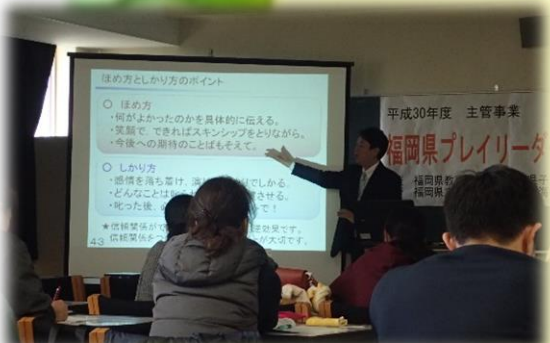
福岡県立少年自然の家「玄海の家」社会教育主事 原口 好史 が玄海自然アートについて講義・演習を行いました。海で拾ってきた貝殻や松林に落ちていたまつぼっくり、木の枝などを使って作品をつくりました。参加者のみなさんのアイデアが光る作品ができました。



研修10

「気になる子どもの理解と支援の在り方」

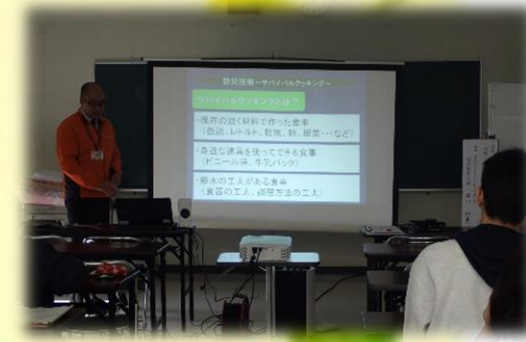
気になる子どもの理解と支援の在り方について福岡県教育庁 教育振興部 特別支援教育課 指導主事 弘松 英樹 氏に講義をしていただきました。参加者のみなさんにDVDを使ってわかりやすく丁寧に話をさせていただきました。



研修11

「防災クッキング」

研修11では福岡県立少年自然の家「玄海の家」社会教育主事 原口 好史 が防災クッキングを行いました。最初に主催事業「サバイバルキャンプ」の紹介を行ったあと、保存のできる食べ物を使って防災時に作れるメニューを紹介しました。



研修12

「子どもの体験活動の企画・立案②」

子どもの体験活動の企画・立案②を福岡県立少年自然の家「玄海の家」主任社会教育主事 宮崎 和善 が講義・演習を行いました。「玄海の家」主催事業の「玄海わくわくチャレンジデー」に出展するブースの内容についてグループごとに話し合い、企画・プレゼンテーションを行いました。素敵なアイデアが多くとても楽しい時間になりました。最後には参加者全員でブース内容を1つにまとめる姿があり、仲間・チームとしての高まりを感じました。

